

令和5年度 第4回徳島県地域医療総合対策協議会 議事録

日 時：令和6年3月12日（火）19：00～19：40

場 所：（Web開催） ※事務局は医療政策課執務室

出席者：出席21名、欠席10名

議題(1) 地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る令和6年度事業の概要について

（北畑会長）

こんばんは、北畑でございます。よろしくお願い致します。早速議事に入らせて頂きます。

まず議題1、地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る令和6年度事業の概要について、事務局の方からご説明をお願い致します。

（事務局）

資料1より説明

（北畑会長）

はい、ありがとうございます。

ただいまの事務局からの説明に関しまして、どなたかご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

（香美委員）

よろしいですかね。

（北畑会長）

香美先生どうぞ。

（香美委員）

大学病院、香美ですけど、ご説明ありがとうございました。

最後の区分VIのところなんですけども、勤務医の労働時間短縮事業のところなんですけど、最近厚労省の方から、これ医療介護総合確保ですけども、予算案として、地域医療勤務環境改善体制整備特別事業とかですね、勤務環境改善医師派遣等推進事業とか、これ、どちらも新規事業で提示されているものを最近見かけているのですけれども、その辺の何か情報等ありますでしょうか。

（事務局）

医療政策課長の金丸です。今、香美委員、仰られた事業についてですね、厚労省の方から昨年末に示されまして、先週の木曜日ですね、この事業に係る説明会も開かれたところです。

委員さんもお承知の事かと思うのですけれども、厚労省の方からは、大きな考え方ですね、っていうものは示されておるところなんですけれども、具体的にその事業の中身ですね、詳細については各都道府県の事情に応じて設計して下さいというふうな事になっておりまして、今、正に我々の方でも、この事業についての制度設計ですね、検討を進めているところです。

他県の状況なんかも踏まえながら、制度を固めていって、何とか来年度スタートさせたいなと思っ
ているところでした、この事業を進めていくにあたって今、実際大学病院さんとかでも、どういった今、
現状にあるのかというふうなところも押さえなければいけないようなところもございますので、そうい
ったところで、また、こちらから近々お問い合わせをさせて頂くような事も考えておりますので、その
際にまたご協力を頂ければと思いますので、よろしくお願いを致します。

(香美委員)

はい、わかりました。どうしても、医師の働き方改革等があつて、今回このような事が基金の中に入
ってきたんだろうなど、私達理解していますので、是非、相談させて頂ければと思います。よろしくお
願いします。

(北畑会長)

はい、ありがとうございます。

他、いかがでしょうか。ご質問、ご意見ございませんでしょうか。

一応、もう1度確認をさせて頂きたいのですが、新規事業としては、2ページの(1)のイにある
ように、1つは、医師の修学資金の貸与事業、これは、従来からある、4ページの(2)のアの①に関
して、定員数が増加するという事で、もう1つのアの⑥の初期臨床研修医一時金支給事業が、これが新
たに作られたもの、という事ですね。

それからさっき、継続事業と仰ったのですけれども、4ページのオの⑤ですね、看護職員就業確保支
援事業、これは継続ではなく、これも新規事業という事で良かったですかね。

(事務局)

医療政策課の竹本です。北畑会長が仰られたように、医師修学資金の定員の分につきましては、令和
7年度の入学生から増にはなっていないので、今回の令和6年度のところの予算のところでは、計
上してはいないところではあるのですけれども、修学資金の県外の方に行かれた県外大学の方に行かれ
た方の呼び戻しの為の修学資金の貸与であったりだとか、そういったものがこの、アの①のところ
に含まれております。

(北畑会長)

はい、ありがとうございます。

他、いかがでしょうか、よろしいでしょうか。

もし他にご意見等がございましたら、次の議題に移らせて頂きます。

議題(2) 令和7年度から各臨床研修病院において臨床研修を開始する研修医の募集定員の設定について

(北畑会長)

では、続きまして、議題の2、令和7年度から各臨床研修病院において臨床研修を開始する研修医の
募集定員の設定について、事務局の方からご説明をお願いします。

(事務局)

資料2-1、2-2等により説明

(北畑会長)

はい、ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明に関しまして、ご意見・ご質問いかがでしょうか。

色々ルールに則って計算されて、また、ご希望をお聞きして調整された結果という事ですね。また、田岡病院の分が増えていますけれども、その分は、徳島大学病院と阿南医療センターで調整をして、ほぼ希望どおりに収まっているという事ですね。いかがでしょうか、よろしいでしょうか。

(各委員)

意見なし

(北畑会長)

それでは、ご意見無いようですので、議題2については、本協議会として、承認とさせて頂くという事でよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし

(北畑会長)

はい、ありがとうございます。では、承認とさせていただきます。

ちょっと追加で僕の方から質問なんですけれども、この募集定員上限の算出方法から見ると、現在、徳島県というのは、四国の中でも高知よりも少ない、今回77名という事なんですけれども、地域枠による加算の項目があるので、これは令和7年度には、増加する見込みと考えて良いのでしょうか。まだちょっと気が早い話で、質問ですけれども。

(事務局)

ご質問ありがとうございます。

徳島大学のご協力のもと、令和7年度の定員から地域特別枠の拡大を図る事としておりますが、それが次年度の加算に適用されるかどうかというのは、厚労省の方にもちょっと確認をとってみたいと、というところがありますので、また、こちらの方、確認作業を進めて参りたいと思います。ありがとうございます。

(北畑会長)

ありがとうございます。

その他

(北畑会長)

以上で本日の議題は終了となりますけれども、せっかくでございますので何か、ご発言等がありましたら。高井委員、よろしくお願ひ致します。

(高井委員)

三好市長の高井でございます。

いつも大変お世話になっております。市長会という立場で入ってはおりますが、特に西部圏域という事で、ちょっと、せっかくの機会に一言、お願い事というか、お伝え出来たらというふうに思いまして、お時間頂きました。

医師確保等、今回もこの中身においては全く、この総合確保基金大変ありがたいと思っておりますし、この通り粛々と、着実に実行して頂ければありがたいと思っております。

かたや西部圏域なんですが、医師少数、偏在地域という事でもあり、やはり加えて介護関係人材、すべてにおいてやはり、人材不足の状況に陥っております。

薬剤師等も同じでありまして、三好市でも現在、東祖谷等の調剤薬局が、薬剤師不足の為に休止中という状態であらゆる資源を投入して、かき集めて、民間の力も借りて住民にも、県や皆さんにお世話になりながら、何とかかんとかやっているところではありますが、実は我々の三好市池田にございます准看護学院の件で1つお願いがございます。

60年を超える歴史で、准看護養成機関として、看護師養成機関として、今まで頑張ってきて、今も現に頑張ってきて、先般も卒業式に私も参加して12名の方、送り出した訳ではありますが、ここへ来てやはり人口減少という中で、学び直しの方も含めてなんですが、やはり入学者を確保するのが非常に厳しく、それでもやっぱり県西部唯一の看護師養成機関ですので、医師会の方々と一緒に何とか持続可能なようにしていこうという事で、市と東みよし町で合わせて、この度250万円の支援をするという事でとりあえず資金的な応援をする事に今ちょうど当初予算の今回、議会の最中ですが、今回決定をしました。

ただ、先々の事を考えますと、非常に厳しくて、要するに県立総合看護学校が県立で徳島県にはございます。そして、南の方には、富岡東、羽ノ浦校がございます。

西部だけは三好市医師会が中心にやっけてこられたという形ですが、もう少し一歩踏み込んで、精一杯支援はするのですが、県の方とタイアップというか、例えば、総合看護学校の分校的な事に出来ないだろうか。

というのも、指導教員の確保においてもやはり、市、医師会、郡市医師会の方だけではなかなか厳しいという現状もあつたり、座学の方とかでも、もし総合看護学校の分の共有などが出来れば、今の時代ですのでオンラインでもあつたり、先生にも来て頂いたり、という事がもしその教員の支援の面でも、可能であるならばもう少しこうタイアップして、出来ないものかと思ひまして今、色々模索している最中です。

三好病院の藤永院長や、また、三好市医師会の会長であつたり安宅先生であつたり、東みよし町の先生方とも色々協議を重ねているところではありますが、ちょっとすぐにどうこうというのではなくて、先々また、県の方ともタイアップしながら、何とか可能な限り、この60年以上に渡る歴史を持つこの准看護学院を潰さないように続けていけたらというふうに思っておりますので、また、お気にかけて頂ければというふうに思っております。

特に介護施設にも、やっぱり准看護師の方、行って頂いていたりしますので、非常に長い目で見て、大事な人材育成の機関となっておりますので、どうぞよろしくお願ひを申し上げます。以上でございます。

(北畑会長)

はい、ありがとうございます。齋藤先生どうぞ。

(齋藤委員)

医師会の齋藤でございます。高井市長にはですね、准看護学校のご支援、どうもありがとうございます。

我々もですね、地元の方でそういうふうに言って頂けるのは、県の医師会としましても市長さんが仰るような方向でですね、出来るだけ応援していきたいと思ひますし、県の方にも一緒に働きかけていけたらと思ひますので、どうぞよろしくお願ひ致します。ありがとうございました。

(北畑会長)

はい、ありがとうございます。

ただ今のご意見に関しまして、何か他に追加でご発言ございませんか。

(高井委員)

ありがとうございます。齋藤会長もありがとうございます。また、ちょっと詳しい状況をまた、分析して、一度また県の方にもお願ひにも、どうすれば良いのかというのを相談にまた伺いたいと思ひておりますので、長い目で見て色々、対策をご指導頂ければと思ひます。

(事務局)

医療政策課の金丸でございます。高井市長、齋藤会長、ありがとうございました。

三好市の准看護学校ですね、なかなか経営が厳しいというところは我々としても認識をしております、まずは何とか入学される方ですね、そこを何とかこう、増やしていきたい。定員割れしている状況が近年続いておりますので、そこを何とかしていきたいというふうに思っておりますのでございまして、そこにつきましては、三好市さんですとか、医師会、それから准看護学校、当事者ですね、関係者も交えまして、より良い方策というものを一緒になって考えて参りたいと思っておりますので、今後とも一緒になって、やっていければと思ひますので、どうぞよろしくお願ひを致します。

(高井委員)

ありがとうございます。

(北畑会長)

はい、ありがとうございます。他に、他の議題でも結構ですので、何かご発言ある方ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、ご意見等もございませんようですので、以上で本日の議事を終了いたします。事務局にお返し致します。

(事務局)

北畑会長様、委員の皆さま、本日はどうもありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第4回地域医療総合対策協議会を終了させていただきます。本日は大変お世話になりました。ありがとうございました。

以上